

NPO法人 熊本まちなみトラスト
第46回理事会(201026)出欠表(実績)

氏名	理事会	出席	委任
	201026	出席	出席
	出欠	人数	人数
1 青木勝士	○		
2 麻生田栄壽	○		
3 伊藤重剛	○		
4 磯田桂史	○		
5 磯田節子			
6 岡裕二			
7 工藤栄一郎			
8 幸田亮一	×		
9 古賀輝	×	理事長	
10 西郷正浩	×	理事長	
11 柴田祐			
12 竹田宏司	○		
13 田中尚人			
14 鄭 一止(いるじ)	○		
15 辻 泰明			
16 豊永信博	○		
17 長野聖二			
18 西島真理子			
19 富士川一裕	○		
20 松波大仁	○		
21 三國隆昌	○		
22 宮野桂輔	○		
23 矢野和之			
24 山田穰			
1 荒木幸介			
2 齊藤修	×		
会員(コア会員)			
1 上農淑子			
加瀬島正剛			
古賀元也			
坂口秀二			
熊本商工会議所(坂井)			
田中達俊	×		
早川祐三			
原野利一			
平山武久			
平山慎久			
両角光男			
池田由美			
小出史			
田上裕			
反後人美			
松崎範子			
西嶋公一			
森 純子			
吉田松花堂			
古川保			
清永泰弘			
黒瀬商店			
後藤環			
東久美子			
宮本茂史			
藤本秀子			
中田浩毅			
石原靖也			
復興project(吉野徹朗)			
西島衛治	×		
酒井伸二(熊本市)			
村上亜紀(熊本市)			
石川琢也(熊本市)			
本田貴也(熊本市)			
中島淑子(PS)			
坂井亮太(カリーノ)			
石橋雅子(熊本県)			
熊本ビル部			
矢島由美子			

◆議決事項(本日の検討事項)

1. 部会からの報告と理事会の決議

(1)歴まち部会

- ①10/10歴まちフォーラムの振り返り **P2-3**
 ②熊本市との連携 今後の方向づけ ・・業務受託を目指す
 ③地域との連携 今後の方向づけ →活動スケジュール
 ★会場費の清算方法 **P4-5**

(2)財政部会

- ①商工ひのくに11月号掲載予定 **P6**
 ②法人会員 入会のお願い ★理事皆で当たる **P7-8**

(3)遺産ネット部会

- ①今年度スケジュールの提案→★準備会の立ち上げ **P9**
 ②ファンクラブと熊本市博物館の連携強化

3. 人吉タスクフォース報告

- ①WMFのCRF:人吉旅館への応急支援 契約・即振込み(9/9)
 報告書の提出 急ぐ
 ②日本財団の豪雨災害復旧支援 採択決定&契約9/19→振込み10/16
 事業期間は3月まで・・・補助事業の執行方式を急ぎ決定

◆前回(9/28)例会以降の経過

◇運営会議会議【正副理事長・部会長】

10/19(月)

◇KMT事務局会議【富士川・松波・菊池】

9/30, 10/7, 10/14, 10/21 計4回

◇財政部会【○豊永・伊藤・田中・青木・□松波】

10月13日 ○:部会長/□:事務局

◇歴まち部会【○伊藤・鄭・竹田宏司・西島真理子・古賀輝・豊永信博】

○:部会長/□:事務局→?

□部会事務局を決めておきたい

◇遺産ネット部会【○磯田節子・宮野・三國・辻・□青木・山田】

10月16日 ○:部会長/□:事務局

次回は ファンC準備会 □部会長が人吉で繁忙のため青木さん三國さん代行
 が必要か

◇人吉タスクフォース

8月22日 肥薩線緊急検討会→その後

9月4日 人吉市長へ要望書提出

P10

◆事務局からの報告

①J-Coin基金 助成申請:9/29締切=提出

みずほファイナンシャルグループ

新型コロナウイルス社会課題への対応

→平成28年熊本地震からの復旧工事完了施設のコロナ対策と
 利活用促進(公演団体とのマッチング)

②「熊本県SDGs普及啓発事業補助金」 助成申請:10/30締切=提出予定

1団体あたり上限500千円 × 10団体

(※補助率:1/2、事業費ベース:1,000千円)

③広報誌VOL.03 編集作業中【3校】(11月1日発行予定)

・・・(本来は)広報誌編集委員会編成すべき→次号から

④関連 PS

カリーノ

清永本店

吉田松花堂

利用促進の支援

10/23支援会議

⑤ICOMOS河野会長との共同研究

災害と文化財 ... KMTのミッション... **P11-12**

理事 11 (+委任状出席3=14>理事総数24×1/2
 会員 0
 合計出席者 11 事務局員0名を含む

101/10 歴まちフォーラム参加者

一般参加者51 熊本市6 校区自治協議会会長3 KMT関係者14 カリーノ4 演奏者パネリスト6 報道関係5

合計89

今後の方向づけ

件名: 【熊本市酒井】 午前中のお問合せの件

伊藤様

都市デザイン室 酒井です。連絡遅くなりました。

現時点でお話しできる内容は以下の通りです。

どうぞよろしくお願いします。

R2予算の執行計画(案)

- 発注方式 公募型プロポーザル
- 発注時期 11月上旬頃
- 開催時期 R3.2月下旬頃
- 事業概要 別紙 (パスワード: kuma01)
- 予算額 発注仕様に上限額を提示
- 資格要件 以下の通り

■資格要件 (案)

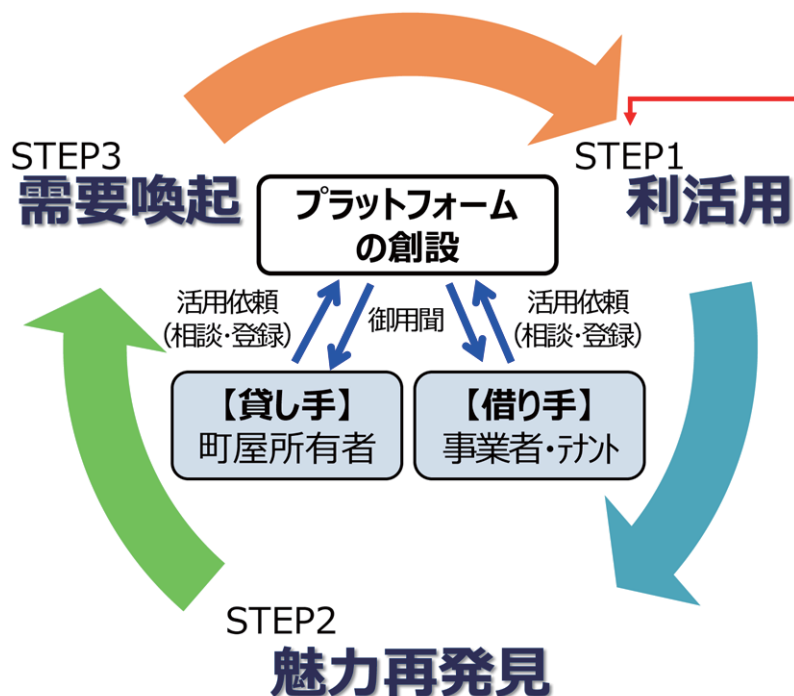
次に掲げる条件をすべて満たしていること。

(1) 熊本市業務委託契約等に係る競争入札等参加資格審査申請書を提出し、熊本市業務委託契約等に係る競争入札参加者等の資格等に関する要綱(平成20年告示第731号)第5条に規定する参加資格者名簿に登録されている者又は契約日までに登録される見込みの者であること。

→10/25 KMT同申請書 簡易書留で郵送

1 事業趣旨

- ・ 城下町地区では、歴まち計画の認定を機に、**歴史的建造物の有効活用を促進する取組**が進められている。
- ・ また、コロナ禍で地方都市への移転・移住等の関心が高まっており、建造物の有効活用を図る転機である。
- ・ この取組を促進すべく、**歴史的建造物等の利活用を実験的に提案・実践することで、身近な歴史的建造物が持つ魅力（多様な活用法や資産としての潜在的な価値・需要等）を多くの人に認識していただき、利活用の機運を高めるもの。**



まずは、**利活用の具体事例を示し、地域の機運を高める**ことが必要。



（ねらい）

1. 所有者に、歴史的建造物の多様な活用法を体感してもらい、利活用に対する意識を高める
2. 活用希望者に、歴史的建造物に対する世間の潜在的ニーズを実感してもらう
3. 市民に、身近にある歴史的建造物等の魅力を再発見してもらう

2 業務内容

**“昼も夜も歴史的建造物を回遊して楽しめるまち”に向けて、
多角的な利活用方策をエリア一帯で実験的に提案・実践（下記①～④）**
【明八橋及び唐人町通り周辺にて、R3年3月頃の実施（想定）】

“空間的”視点

① 町屋等の利活用

- ・ 唐人町通り周辺の町屋の有効利用等（必要に応じて修繕・転貸等）



② 道路等の利活用

- ・ 明八橋周辺の道路空間等を一体的に活用した企画・運営等



“時間的”視点

③ 夜間演出

- ・ 明八橋周辺におけるライトアップの監修・実践等



④ プロモーション・評価・分析

⇒歴史的建造物利活用に対する人の注目・興味関心度を把握し、
今後の歴史的建造物の有効活用の促進につなげていく



くまもと地域レーダー

イベントを中心に地域の情報をご紹介します。
「見る」「聞く」「集う」「食べる」「学ぶ」etc...
多くの皆様のご参加をお待ちしています。

Event

『Go To Eat キャンペーンくまもと』・『Go To トラベル (地域共通クーポン)』取扱店舗の登録が始まっています！

Go To Eat キャンペーンくまもと【農林水産省所管】

『Go To Eat キャンペーンくまもと』とは、熊本県内の登録店舗で使える 25%のプレミアムを付けた食事券（1冊 10,000 円を 8,000 円で購入）が発行されます。参加登録店舗には、感染予防対策に取り組むことを条件とし、利用者にも「新しい生活様式」に基づいた地域全体の消費を促すことを目的とした事業です。

【申請方法】

○オンライン申請

内容をご確認のうえ下記 URL または QR コードから登録をお願いします。

○郵送申請 ※オンライン申請に比べ時間を要します

申請書類一式が必要な場合、Go To Eat キャンペーンくまもと事務局にお問い合わせください。

詳しくは下記ホームページもしくは QR コードからご確認ください！

【Go to Eat キャンペーンくまもと特設サイト】

<https://gotoeat-kumamoto.jp>



【お問い合わせ先】

Go To Eat キャンペーンくまもと事務局

TEL 0570-035-210 (受付時間：9 時 30 分～17 時 30 分 平日のみ)

Go To トラベル (地域共通クーポン)【観光庁所管】

『Go To トラベル (地域共通クーポン)』とは、旅行代金の 15%相当額を地域共通クーポンとして旅行者に配布するものです。取扱店の登録を受けた店舗（土産物店、飲食店、観光施設、アクティビティ、交通機関等を含む）にて使用ができます。

【申請方法】

○オンライン申請

内容をご確認のうえ下記 URL または QR コードから登録をお願いします。

○郵送申請 ※オンライン申請に比べ時間を要します

・特設サイトから申請書類一式を取得する場合、下記 URL または QR コードから内容をご確認ください。

・申請書類一式が必要な場合、Go To トラベル事業コールセンターにお問い合わせください。

詳しくは、下記ホームページもしくは QR コードからご確認ください！

【Go to トラベル特設サイト】

<https://biz.goto.jata-net.or.jp/coupon/>



【お問い合わせ先】

Go To トラベル事業コールセンター

TEL 0570-017-345/03-6747-3986 (IP) (受付時間：10 時～19 時 年中無休)

Information

NPO 法人熊本まちなみトラストに参加しませんか！

私たち NPO 法人熊本まちなみトラストは、建築、都市計画、文化財保護、ジャーナリスト等の専門家を含みメンバーが集い、「記憶の継承」を理念に町並み保存や歴史的建造物などを通して住民の皆様を支援する団体です。平成 28 年熊本地震と令和 2 年 7 月豪雨で被災された所有者に寄り添い、歴史的建造物の復旧方法について相談に乗る一方で、熊本市歴史的建築物の保存及び活用に関して、フォーラムの開催などを通じて市民への広報活動をしています。

私たちは重層的な人々の営みの歴史を現わす建物や町並みや風景を、熊本の個性と捉え、この貴重な財産を市民の皆様と一緒に、今と未来の人々のために守り活かす活動を続けていきたいと考えています。このたびは、商工会議所様のご厚意で本誌の紙面を介して熊本の企業の皆様に法人会員参加の呼びかけをさせていただいております。どうぞ、私たちの故郷をより良くしていく活動にご参加いただきますようお願い申し上げます。

NPO 法人熊本まちなみトラスト 理事長 伊藤 重剛

子どもたちによりよい環境と故郷の風景を提供したい！

私たちと一緒に考え、活動してみませんか

【まずは事務局までお電話ください】

NPO 法人熊本まちなみトラスト TEL 096-326-6611 (事務局：富士川)

info@kumamoto-machinami-trust.org



2019 年 8 月明八橋での震災復興イベント



2020 年 3 月清永本店の震災復旧工事が竣工しました

第 7 回財政部会メモ

日時：2020年10月13日19時～

参加：麻生田、伊藤、青木、豊永、松波

1. 「商工ひのくに」ゲラ確認

- 1) 清永本店の写真は正面からのものに差し替え
- 2) 文章、文字サイズには校正点なし
- 3) ただし、KMT の HP アドレスとメールアドレスを追加

2. 法人会員勧誘リストについて

- 1) 対象企業を広げることも必要だが、現在候補になっているような企業の賛同が得られないようでは、縁の薄い企業の参加は期待できない。
- 2) また、現在の候補企業を会員として獲得することは、実績として示すことができ、会員のさらなる獲得に資する。
- 3) 引き続き会員リストの充実をはかるものの、実際のアポ獲得、勧誘のための訪問を開始する。10 月末に北岡神社の氏子総会があるので、出田眼科、清永宇蔵商店、北岡神社には青木さんが下話をする。
- 4) アポ獲得の前提として、訪問メンバーの日程が確保できることが必要なので、松波が各人の空き時間を記入できるカレンダーを用意する。
- 5) 訪問者は麻生田、伊藤、豊永を中心とし、松波は必要に応じて参加する。
- 6) 追加すべき企業

北岡神社、川尻神宮、森辛子レンコン、兵庫表具店、アンジェラス、文林堂、喜楽、加茂川（商工クラブ）、服部医長外科、松田バナナ

7) 候補企業の追加の手段

- ① 島田美術館夫人、古川さんから紹介を受ける。
- ② 今回挙げた企業を追加したリストを理事全員に配布して、推薦を得る。
- 8) 歴まちフォーラムに参加してくれた 3 か所の自治協議会を会員、もしくは賛助会員として加えることを次回の例会／理事会で検討してもらう。

3. 歴まちフォーラム振り返り

麻生田さんと青木さんが参加できなかったため、簡単に成果報告を行った。

- 1) 86名の参加者を得、大盛況だった。従来とは異なる参加者も多く、公務員専門学校の学生も数名参加してくれた。

- 2) なかでも「となりびと」の山下氏の参加は、新たな広がりを予感させる出会いだった。
- 3) 市の担当部局と 3 か所の重点地区の自治協議会の顔合わせ、自治協議会相互の出会い
は歴まち推進の力となるだろう。
- 4) パネリストは全て 30 歳～40 歳代で、従来の KMT の活動とは一線を画し、新しい世代の台
頭と支店の広がりを予感させた。
- 5) 3 つの地区代表者の発表内容は、地区代表としての抽象論ではなく、それぞれの個別の生業
を語る内容であり、まちづくりの原点とも言え、熱意とエネルギーを感じさせた。
- 6) 市立博物館の竹原氏は専門家としての潜在能力も高く、祭りに注目するという見落としがちな
視点を確保してくれた。終了後の勧誘で文化遺産クラブにも大いに関心を持ってくれ、有力な
会員候補である。将来の博物館との連携も期待できる。伊藤理事長が次回の理事会にご案
内する。
- 7) イルジ氏の進行ぶりは事前の飲み会で詰めを行うなど、通り一遍の進行とは一線を画し、自己
の視点も加えながらパネルの盛り上げに大きく貢献した。

4. 次回日程

- 1) 次回の日程は、10 月 26 日の定例会／理事会での討議を受けて当日決定する。

以上

被災文化遺産所有者等連絡協議会の活動経緯

	2016(平成28年)	2017(平成29年)	2018(平成30年)	2019(平成31年／令和元年)	2020(令和2年)	2021(令和3年)
熊本地震★ 4/14・16						
被連協 (協議会)	10/14○ 11/19◎ 設立準備会 設立総会	◎2/9 10/5◎ アレックス・カー講演会	◎4/14 協議会「モノづくりの作法」シンポジウム	●解散に関するアンケート調査● 6月………10月	(12月 予定) 解散提案	(3月 予定) 解散総会
熊本市への相談～請願	要望準備部→	◇1/16 ◇1/20 ◇2/8 ◇6/5 市議会 市議会議員 副市長 ◇2/20市議会へ請願 ◆10/24 市長への要望書(歴史まちづくり計画の策定等)			地域遺産ファンクラブ【準備会】	地域遺産ファンクラブ 発会
熊本市への相談～請願	小野副知事相談→知事・議長へ要望書	◇1/19 ◇6/28 6/15県議会議長面談			※歴史まちづくり計画 パブコメ締切◆2/6 →6/24国の認定 ※保存活用条例 パブコメ締切◆4/28→6月制定	
熊本市の対応(補助制度の創設)		◆2/15 ◆4/18協議会幹事会で説明 …… 適用本格化 文化財復旧復興基金を活用した補助制度創設を公表				
協議会幹事会	11/11 第1回 ①②……………				3/31 第121回	
清永部会		8/23第1回 ①②③……………121				
関連した動き 会員の動向						
	6/26○トラスト現地事務所開設 7/4○グループ補助金城下町立寄り処第1回打合せ 5/12○日本イコモス緊急アピール文 7/22○建築学会等4団体提言	8月●N.H.ピュアリイ復旧工事完了 2月●塩胡椒復旧工事完了 12月●しばりや復旧工事完了 6月■森本表具店解体 7月■鈴木邸解体 9/24○日本イコモス「歴史を活かしたまちづくり」シンポジウム※	黒瀬商店復旧工事完了●1月 野田市兵衛復旧工事完了●1月 2月●塩胡椒復旧工事完了 3月●西村邸復旧工事完了 12月●金岡仏具店復旧工事完了 8月●兵庫屋復旧工事完了 11月■後藤商店消失 ■安田ふとん店解体	9月●PSオランジュリ復旧工事完了 3月●西村邸復旧工事完了 10月●珈琲回廊復旧工事完了	3月●清永本店復旧工事完了	

会員（オーナー）

新町古町地区

清永幸男 宮本茂弘
吉田季代 八木啓介
鈴木婦美子 大住裕司
岩原和哉 渡邊稔晃
西村正代 野田珠美
東久美子 白石一成
後藤環 早川礼三
北野淳一郎 黒瀬雅之
森本志郎 益雪敏昭
安田憲世 平山武久

川尻地区

吉村浩平
堀尾太治郎
村田幸博
財津真一
志摩敏元
古川保
中西弘一
森川真由美
林憲一

世話役

(3号会員)

毛利秀士
松田清見
矢野和之
伊藤重剛
磯田桂史
吉野徹朗
富士川一裕

△決議には参加しない

1. 肥薩線復旧要望打合せ-第1回-

2020年8月22日(土)18:30~20:30 @パレア 10階 第7会議室

出席者:幸田亮一、磯田桂史、磯田節子、田中尚人、竹田宏司、辻泰明、伊藤重剛、豊永信博、ちょん・いるじ、西嶋真理子、松波大仁、富士川一裕 12人

(1)被災状況報告(磯田節子理事、辻理事)

(2)新聞報道等も含め被害状況の確認

(3)本日参集者の現状認識

(4)KMTとしての対応方針

①次回会合までに当局に当たってみる 幸田→JR 田中→国交省、熊本県

②8/24(月)理事会で意見を聞く(→特に議論ナシ、時間ナシ)

2. 幸田メモ

9月3日に磯田先生と私でJR九州熊本支社を訪ね、赤木支社長と田神施設担当課長にお話をお聞きしました。説明内容はプレス発表以上のものではありませんでしたが、復旧の参考に『肥薩線の近代化遺産』10冊を寄贈してきました。

この間、富士川さんの添付資料にもあるように、青柳社長は復旧の前提は治水方針だと再三発言されていますし、蒲島知事も困難な決断を迫られています。今回、肥薩線が被った災害は、JR九州発足以来、いや国鉄時代を含めて最大級の鉄道災害に属するのではないのでしょうか。

こういう状況を踏まえると、今はトラストが何か行動を起こす時期ではなく、もう少し様子を見る時期だと思います。その上で、必要な時期が来たら、鉄道史学会や産業遺産学会(旧産業考古学会)、土木史学会などに働きかけましょう。これらの全国学会が前面に出てJR九州に要望書を出す方が効果があるのではないのでしょうか。 とりいそぎ。

3. 沿線自治体から JRへ要望書提出

201021K

肥薩線 全線復旧を 沿線自治体、JR九州に要望

7月豪雨で被災し、不通が続くJR肥薩線について、沿線の3県16市町村でつくる「肥薩線利用促進・魅力発信協議会」は20日、鉄道での全線復旧をJR九州に要望した。

人吉市や球磨村などの首長や県の担当者ら9人が福岡市のJR九州本社を訪ね、会長風などがあり、温暖化はこれらに影響を与えているとみられる。チームによると、九州での梅雨型の大雨は温暖化の影響を受けやすいが、瀬戸内地方は比較的降水量が少なく、温暖化の影響が表れにくいと考えられてきた。気象研の今田由紀子主任研究官は「雨が降りにくいとされている地域でも温暖化の影響が現れることが分かった」と話している。

を務める人吉市の松岡隼人市長が、要望書を古宮洋二・専務総合に説明する考えを示した。松岡会長は要望後、報道陣に「肥薩線の不通が見極めた上で復旧方法をまとめ、関係者に説明する考えを示した」と説明する考えを示した。

非公開で意見交換があり、同協議会によると、JR九州は復旧後に「次の水害」で再び被災することがないよう、球磨川の治水に関する地元の議論の方向

JR九州の古宮洋二・専務総合企画本部長(左)に要望書を手渡す肥薩線利用促進・魅力発信協議会長の松岡隼人・人吉市長=20日、福岡市

通で人と人の交流が途絶えてしまい、経済が回らない。見慣れた鉄道の風景を一日も早く取り戻すことができるよう、地域としても頑張りたい」と述べた。(宮崎達也)

ピーク流量計算
国に情報公開を
共産党県委が
県に申し入れ

共産党県委員会は20日、球磨川豪雨検証委員会で国土交通省が示した洪水のピーク流量の計算手法などについて、同省に情報公開を求めるよう、県に申し入れた。

申し入れ書は、ピーク流量について、「従来の計算手法と異なる」と指摘。県主導で検証の場を新たに設けることも求めた。

県庁を訪れた橋田芳昭書記長は「県は国の示したデータをつのみにせず、公平な立場で民意を把握すべきだ」と述べた。(中尾有希)

2020
熊本
豪雨

災害と KMT (NPO 法人熊本まちなみトラスト)

1997 年 4 月 25 日創立・・・「熊本まちなみトラスト」

2017 年 5 月 23 日に熊本市長から NPO 認証をうけて設立した法人組織・・・「KMT」
と呼ぶことにする。

1. 熊本まちなみトラスト創立の趣意

1997 年 4 月 25 日に商工会議所で開催した集会の目的は、旧第一銀行熊本支店社屋を取り壊しから救出するための呼びかけであった。それが、そのまま団体の設立総会に移行したのにはそれなりの理由がある。第一の理由は、開催日の2ヶ月ほど前から旧第一銀行熊本支店社屋の保存について議論を重ねてきた「古町研究会」会員の間で、食糧会館や長六橋の取り壊しからの救済にぼう大な時間と労力を費やしたにもかかわらず目的を達成できなかった経験から、「コトが起こってからではなく平時において遺したい文化遺産を登録しておき見守る団体が必要だ」という強い思いがあったことである。実際、古町研究会では「登録台帳」を作成し始めていたのだが、偶然にも国の「登録文化財制度」の創設と時を同じくしていた。

第二の理由は、そこに参集したメンバーの熱気である。今回の事態は文化遺産である建物が銀行社屋ということもあり、商工会議所の職員の方も連携して調査に加わられていた。そこで保存の呼びかけ人には経済界の方たちも是非加わっていただこうということになり、大久保太郎さん、岡英生さん、亀井創太郎さん、石原靖也さん等若手経営者の方たちが参加された。呼びかけ人会では、これらの方や文化人、行政職員、大学研究者、医師、商店主、建築関係者等が次々と席を立てて発言され、会場である商工会議所から至近距離にあるのでこれからみんなで現地に行きそこで議論しよう、また、この会だが、呼びかけ人会というよりもむしろ一気に団体の設立をしてしまおう、ということになった。後に、そこに参加されていた方の中から石原靖也さんが熊本まちなみトラストの初代会長に就任された。

2. 災害とボランティア (KMTはどんなボランティア団体か?)

時は 20 年後に移るが、2016 年 4 月の熊本地震の後、6 月から 9 月まで現地事務所を開設し常駐する中で、全国から被災地に集まってくる様々な人たちとお会いした。スキルを持ったボランティア、スキルを持たないボランティア、大学の研究者、民間のコンサルタント、何かを主張したい人から単なる野次馬まで、実に大勢の人たちが被災地には集まってこられる。熊本まちなみトラストは被災文化遺産所有者の支援をするために NPO 法人になったが、ひるがえってこのような災害ボランティアの一員として見たときに、KMTはどのような団体として位置づけられるのか？ その後の 2020 年 7 月豪雨の被災地人吉にかかわる中でそのことをあらためて考えることになった。

2020 年 7 月豪雨の後の被災地人吉とのかかわりは、2013 年に登録文化財となった2つの温泉旅館と当時調査に当たった磯田理事のつながりが続いていたことによる。被災後すぐに磯田理事は旅館の女将さんと連絡を取り復旧支援に携わった。2016 年熊本地震の後の小川町と磯田理事のかかわりも同様の経緯が認められ、熊本市新町古町地区と富士川のかかわりも被災前の文化遺産所有者とのつながりが被災後の支援の始まりであった。KMTのメンバーは様々に被災地とのかかわりを持って活動しているが、以上のような磯田、富士川の例からKMTの団体のミッションやスキルを敷衍

することはできる。

それはまた、20 年前の熊本まちなみトラスト設立の時やその後の上熊本駅舎保存のとりくみ等においても繰り返し立ち現れていたことではあるが、以下のようなKMTの団体のミッションとして整理される。

1)災害時以前の平時において地域の文化遺産とつながり見守っていること、2)それらの文化遺産が災害等で危機に瀕した時に所有者・管理者に寄り添い様々なスキルを駆使して支援をすること。と、ひとまず定義できるような気がする。考えてみると、20 数年の間に熊本まちなみトラストに降って沸いたようにもたらされた文化遺産取り壊しの危機の報せは「災害」と言えなくもない。

「登録文化財」という制度、というよりもむしろコンセプトが重要である。KMTの活動は文化財の裾野を広げることを目指している。法隆寺や姫路城を頂点としたピラミッドを思い描いた時に裾野である三角形の底辺を強くすることに専心している。底辺にこだわることには、文化財の保護とは次元をことにする社会課題があるのだが、ここではそのことには立ち入らずに「世間遺産」や「市民遺産」にこだわっている人たちや地域があることを指摘するに留める。また、熊本県建築士会がヘリテージマネージャー養成講座を始めた時に「熊本県内を登録文化財で埋め尽くしたい」と語られていた受講生の方たちの思いとも共通している。日本遺産はどうか。裾野を広げることに一役買っているように見えるが、観光化や文化遺産の商品化は遺産の消耗を早めることになるとの警戒感もある。いずれにしてもこれらのことにかかわりつつ「記憶の継承」という理想を実現しようとしているのがKMTである。

3. 一分で分かるKMTのミッション …未だうまく表現できていないが、SDGsとの関係も明らかにしたい

2020 年、コロナ禍のなかでの 5 月総会で部会活動を積極的に取組むという活動方針が採択された。同年 10 月、歴まち部会は、建物所有者との共催で旧住友銀行支店社屋を会場にしたフォーラムを開催し、今後熊本市が策定した「くまもと歴史まちづくり計画」の推進役として民間からお手伝いを続けることを意志表示した。遺産ネット部会は建物所有者と建物に興味を持つ多くの人が集う「地域遺産ファンクラブ」の設立準備に余念がない。財政交流部会は熊本商工会議所の協力を得て熊本の企業に当会の法人会員に加入いただくようにはたらきかけを強めている。

KMTの今後の活動はこれらの部会活動を軸に展開されるであろう。

建物所有者と市民・県民・企業とともに地域の文化遺産を見つけ・楽しみ・広める活動
地域遺産ファンクラブの運営(地域遺産のファンを増やし次世代に継承する)
街歩き、見学会の開催 シンポジウム・フォーラムの開催
災害等で取り壊しの危機が訪れたら様々なスキルを駆使して救済に取り組む
建物所有者との相談会 行政との橋渡し 民間スポンサーとの橋渡し
ヘリテージマネージャーとしての研鑽、様々な専門分野との連携

以上のような、地域の文化遺産を通して人々の「記憶の継承」を促す活動は、コミュニティの持続可能性のために不可欠な活動である